



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月27日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクロール
 コード番号 8005 URL http://www.scroll.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 堀田 守
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括部経営企画課長 (氏名) 鈴木 康晴 TEL 053-464-1114
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	31,678	3.2	1,384	—	1,509	—	1,296	—
27年3月期第2四半期	30,685	△7.3	△779	—	△646	—	△769	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,092百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △587百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	38.75	38.68
27年3月期第2四半期	△23.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	34,497	21,415	61.8
27年3月期	36,361	20,483	56.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 21,324百万円 27年3月期 20,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	0.7	650	—	1,000	—	700	—	21.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	34,320,650株	27年3月期	34,320,650株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	820,509株	27年3月期	912,615株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	33,453,213株	27年3月期2Q	33,256,488株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は平成27年10月28日に機関投資家及び証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算補足説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向のなかで緩やかな景気回復が期待されているものの、アベノミクス政策の息切れ感や中国経済の急激な減速懸念など、経済環境は依然として不透明な状況が続いています。

小売業界におきましては、インバウンド需要などにより宝飾・貴金属・化粧品などの高額品や高付加価値商品に明るい兆しが見え始めているものの、同業他社や他業態との競争激化など、引き続き厳しい状況が続いています。また通販業界におきましては、店舗販売とのオムニチャネル販売や物流サービスの充実などにより継続的に市場規模が拡大していくなかで、顧客情報管理体制の強化や法改正への対応が求められるなど通販事業者を取り巻く環境は厳しさを増しています。

このような事業環境のなか、当社グループは、中期経営計画「SCROLL RENOVATION 2015」の最終事業年度にあたる当期において、「シニア事業」、「インターネット事業」、「化粧品事業」および「通販ソリューション事業」を成長戦略の中心に据え、事業の収益化に向けた各種施策を推進するとともに、事業基盤を一層強化するためのインフラ整備の完成と、次期中期経営計画に向けた強力な事業体制の構築に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高31,678百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。利益面におきましては、連結営業利益1,384百万円（前年同四半期は連結営業損失779百万円）、連結経常利益1,509百万円（前年同四半期は連結経常損失646百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,296百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失769百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、セグメント別の売上高は連結相殺消去後の数値を、セグメント利益又は損失は、連結相殺消去前の数値を記載しております。

① 通販アパレル事業

通販アパレル事業におきましては、女性向け通販ブランド『Brillage（ブリアージュ）』および生協販売において、シニア世代の幅広いニーズに合致する、充実した品揃えと売り場づくりに注力いたしました。さらに、お求めになりやすい価格設定の商品を充実させるなど、積極的な販売に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は12,619百万円（前年同四半期比0.9%増）となり、セグメント利益は129百万円（同300.2%増）となりました。

② 通販インナー事業

通販インナー事業におきましては、お客様の悩みに焦点をあてた商品の企画に注力するとともに、高い支持をいただいております着心地の良さや高い機能性を両立させた商品の販売を強化してまいりました。また、お客様の「ついで買い」を意識したプラスワン商品を展開するなど、購買の促進を意図した企画販売にも取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は3,966百万円（同1.3%増）となり、セグメント利益は166百万円（同0.9%増）となりました。

③ 通販LF事業

通販LF事業におきましては、インターネット販売において、特に自社通販サイトでの販売を強化し効率化を図ってまいりました。とりわけ、新生活需要が一巡する6月以降は、「大型家具バザール」を継続的に実施したほか、海外雑貨商品の取扱いを拡充してまいりました。生協販売におきましては、これまでに大きな支持をいただいております機能的かつかわいいをテーマにしたプライベート商品の開発および販売に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は6,649百万円（同9.3%減）となり、セグメント利益は209百万円（前年同四半期はセグメント損失263百万円）となりました。

④ 通販H&B事業

通販H&B事業におきましては、ナショナルブランド化粧品などを取り扱うECサイトにおいて、出店モール内のキャンペーンを活用し、効率的な販売に取り組んでまいりました。化粧品ビジネスにおきましては、海外需要への対応を強化するなどオリジナル化粧品の販売を拡大するとともに、自社通販サイトにおいて新商品を投入し、通販既存顧客への販売強化にも努めてまいりました。

以上の結果、売上高は4,857百万円（前年同四半期比34.1%増）となり、セグメント利益は829百万円（前年同四半期はセグメント損失696百万円）となりました。

⑤ ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、主に物流代行サービスおよび後払い決済サービスの営業拡大に取り組んでまいりました。また、コスメティクス・サプリメント通販専用の物流センターをはじめとする付加価値の高いサービスの提案を推進してまいりました。さらに、大手流通企業のオムニチャネル戦略設計支援やEC企業向けの海外物流支援などの新たなサービスにもチャレンジしております。

以上の結果、売上高は3,585百万円（前年同四半期比8.8%増）となり、セグメント利益は297百万円（同42.1%増）となりました。

⑥ その他

その他事業におきましては、金融事業における事業終了に向けた業務に専念しております。

以上の結果、営業収益はございません。また、セグメント損失は6百万円（前年同四半期はセグメント利益20百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は34,497百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,864百万円減少しました。これは主に売掛金の減少によるものであります。

(負債)

負債は13,081百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,795百万円減少しました。これは主に未払金、買掛金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は21,415百万円となり、前連結会計年度末に比べ931百万円増加し、自己資本比率は61.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は938百万円となり、前連結会計年度末に比べ167百万円減少いたしました。当第2四半期連結累計期間における活動ごとのキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、916百万円の収入（前年同四半期は455百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上、営業債権の減少などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、846百万円の支出（前年同四半期は519百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、238百万円の支出（前年同四半期は217百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払いなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、市場環境や連結子会社の下期予測をもとに総合的に考慮した結果、売上高は前回発表予想を下回る見通しとなりました。営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、中期経営計画に基づき高い投資効果の見込まれる事業に集中した販売促進活動などの施策を実施するため、据え置きといたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

（従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引）

当社は、当社グループ従業員に対する当社グループの中長期的な企業価値向上へのインセンティブ付与、福利厚生の充実、及び株主としての資本参加による従業員の勤労意欲高揚を通じた当社グループの恒常的な発展を促すことを目的として、従業員持株会に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

1. 取引の概要

平成25年7月から約3年にわたり「スクロール従業員持株会」（以下「本持株会」といいます。）が取得する見込みの当社株式を、「スクロール従業員持株会専用信託口」（以下「信託口」といいます。）が予め一括して取得し、本持株会の株式取得に際して当社株式を売却していきます。

当該自己株式の取得・処分に関する会計処理については、当社と信託口は一体であるとする会計処理を行っており、信託口が所有する当社株式を含む資産及び負債、収益及び費用については連結財務諸表に含めて計上しております。

2. 信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する会計処理

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成27年3月26日）第20項を適用し、従来採用していた方法を継続しております。

3. 信託が保有する自社の株式に関する事項

- ① 信託における帳簿価額
前連結会計年度81百万円、当第2四半期連結会計期間57百万円
- ② 当該自社の株式を株主資本において自己株式として計上しているか否か
信託が保有する自社の株式は株主資本において自己株式として計上しております。
- ③ 期末株式数及び期中平均株式数
期末株式数 前第2四半期連結会計期間415千株、当第2四半期連結会計期間222千株
期中平均株式数 前第2四半期連結累計期間467千株、当第2四半期連結累計期間269千株
- ④ ③の株式数を1株当たり情報の算出上、控除する自己株式に含めているか否か
期末株式数及び期中平均株式数は、1株当たり情報の算出上、控除する自己株式に含めております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,105	938
売掛金	10,964	9,874
たな卸資産	6,690	6,549
その他	2,649	2,545
貸倒引当金	△87	△104
流動資産合計	21,323	19,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,234	5,090
土地	4,576	4,575
その他(純額)	1,578	1,487
有形固定資産合計	11,390	11,153
無形固定資産	1,298	1,295
投資その他の資産		
その他	2,832	2,300
貸倒引当金	△483	△55
投資その他の資産合計	2,349	2,244
固定資産合計	15,037	14,694
資産合計	36,361	34,497
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,547	1,944
短期借入金	2,100	136
未払金	8,414	6,284
未払法人税等	66	168
引当金	272	270
その他	837	913
流動負債合計	14,238	9,718
固定負債		
長期借入金	242	2,125
引当金	367	167
退職給付に係る負債	645	684
その他	384	386
固定負債合計	1,639	3,363
負債合計	15,877	13,081

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,812	5,812
資本剰余金	7,123	7,080
利益剰余金	7,012	8,142
自己株式	△517	△464
株主資本合計	19,431	20,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	787	755
繰延ヘッジ損益	183	△19
為替換算調整勘定	17	19
その他の包括利益累計額合計	989	754
新株予約権	3	6
非支配株主持分	59	84
純資産合計	20,483	21,415
負債純資産合計	36,361	34,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	30,685	31,678
売上原価	18,818	19,246
売上総利益	11,867	12,432
販売費及び一般管理費	12,647	11,048
営業利益又は営業損失(△)	△779	1,384
営業外収益		
受取利息	10	6
受取配当金	20	20
業務受託手数料	60	80
その他	69	44
営業外収益合計	160	152
営業外費用		
支払利息	8	8
その他	18	18
営業外費用合計	27	27
経常利益又は経常損失(△)	△646	1,509
特別利益		
固定資産売却益	10	0
特別利益合計	10	0
特別損失		
固定資産除却損	15	10
その他	2	—
特別損失合計	17	10
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△653	1,499
法人税、住民税及び事業税	41	149
法人税等調整額	71	22
法人税等合計	113	171
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△766	1,327
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	31
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△769	1,296

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△766	1,327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122	△32
繰延ヘッジ損益	59	△203
為替換算調整勘定	△2	1
その他の包括利益合計	179	△234
四半期包括利益	△587	1,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△590	1,061
非支配株主に係る四半期包括利益	3	31

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△653	1,499
減価償却費	300	376
のれん償却額	57	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△410
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	—	△182
その他の引当金の増減額(△は減少)	△33	△18
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	29	38
受取利息及び受取配当金	△30	△26
支払利息	8	8
固定資産除売却損益(△は益)	6	10
営業債権の増減額(△は増加)	1,485	1,111
たな卸資産の増減額(△は増加)	△503	141
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△13	△152
長期未収入金の増減額(△は増加)	—	450
仕入債務の増減額(△は減少)	△634	△590
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△316	△1,402
その他	△49	5
小計	△345	857
利息及び配当金の受取額	30	26
利息の支払額	△8	△8
法人税等の支払額	△136	△53
法人税等の還付額	5	94
営業活動によるキャッシュ・フロー	△455	916
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△487	△709
有形固定資産の売却による収入	127	0
無形固定資産の取得による支出	△148	△133
その他	△10	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△519	△846
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金返済による支出	△79	△2,080
自己株式の売却による収入	27	29
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△165	△166
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△20
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△217	△238
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,193	△167
現金及び現金同等物の期首残高	1,946	1,105
現金及び現金同等物の四半期末残高	752	938

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通販 アパレル 事業	通販 インナー 事業	通販 LF 事業	通販 H&B 事業	ソリュー ション 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	12,511	3,917	7,329	3,623	3,296	30,678	7	30,685	—	30,685
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	0	12	554	568	0	568	△568	—
計	12,511	3,917	7,329	3,636	3,851	31,246	7	31,253	△568	30,685
セグメント利益 又は損失(△)	32	164	△263	△696	209	△554	20	△533	△113	△646

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△31百万円及び投資不動産の内部取引利益△82百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通販 アパレル 事業	通販 インナー 事業	通販 LF 事業	通販 H&B 事業	ソリュー ション 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	12,619	3,966	6,649	4,857	3,585	31,678	—	31,678	—	31,678
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	0	4	447	452	—	452	△452	—
計	12,619	3,966	6,649	4,862	4,033	32,131	—	32,131	△452	31,678
セグメント利益 又は損失(△)	129	166	209	829	297	1,632	△6	1,626	△117	1,509

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△35百万円及び投資不動産の内部取引利益△82百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。